

第2760地区

豊田ロータリークラブ



『ロータリーに誇りと自信を！魅力あるクラブを目指して』

http://www.toyotarc.jp

本日の例会

第2400回

日時 平成21年10月15日(木)12:30~13:30  
場所 ホテルトヨタキャッスル  
卓話 大山輝美君

-今週の祝福-

会員誕生日 10月8日 横尾 貢君、松尾隆延君  
10月12日 片田直幸君、山田郁雄君  
10月17日 松井博文君、鈴木隆太郎  
ご夫人誕生日 10月8日 鈴木万衛君ご夫人 和美様  
10月10日 河原秀紀君ご夫人 郁子様  
10月13日 永井英雄君ご夫人 紀代子様  
10月14日 光岡主税君ご夫人 理香様  
10月17日 倉地忠雄君ご夫人 京子様  
結婚記念日 10月10日 藤井伸三・美子ご夫妻  
〃 清水伸吉・弥生ご夫妻  
10月12日 三宅金一・眞佐子ご夫妻  
〃 鬼頭 邦・絃子ご夫妻  
10月20日 鈴木隆太・由美子ご夫妻

前回の例会

第2398回 クラブフォーラム

日時 平成21年10月1日(木)12:30~13:30  
会場 ホテルトヨタキャッスル  
司会 会場委員会 井戸雅裕君  
斉唱 国歌『君が代』『奉仕の理想』  
四つのテスト 職業奉仕委員会 河合弘義君  
来訪者 米山奨学生 王 琦 様

会務報告 会長挨拶 岡田勝美 会長

こんにちは。今日は、米山月間であり職業奉仕月間です。今日のクラブフォーラムは米山のお話をさせていただきます。このあと、担当の杉浦さんからいろいろお話があると思います。また来週は職業奉仕ということで、出張例会となりますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

米山については後で詳しいお話があると思いますが、米山の寄付金につきまして、昨年はお1人で1億円の寄附をされた方がいらっしやり、大変大幅に寄付金が増えたという事でしたが、今年に入りほとんど寄付が集まらないという事で、この7~8月の2ヶ月で前年比7.2%減という事です。奨学会の方から寄付の要請が来ておりますので、是非ご協力を願ひしたいと思います。特に、まだ米山に寄付をされてない方は、是非お願ひ致します。

さて、先週の例会は親睦例会という事で、ナゴヤドームで行われました「グレン&千杯R選抜野球大会」の前夜祭に参加という形で行わせて頂きました。懇親会には非常に不向きな会場でありましたが、色々な知恵を絞っていただいて大変楽しい和気あいあいとした懇親会になったと思います。豊田市長にも駆け付けて頂きまして、色々と豊田市についてのPRもして頂きました。全国から来て頂いたロータリアンにも喜んで頂けたと思っております。出席して頂いた皆さんには、感謝を申し上げさせていただきます。また、翌日と翌々日に

試合が行われました。強豪チームばかりで熱戦が繰り広げられた訳ですが、豊田RCは初戦が徳島の阿波徳島RCに4-1で勝ちましたが、2回戦で茨木の日立北RCに5-1で敗れまして準決勝進出はなりません。優勝は、四国の松山南RCが前年度優勝の八尾東RCを破り優勝という事でありました。野球同好会の皆さんは3日間ホテルに泊まり込みで大会の運営と試合と両方に頑張ってもらったお陰で、大変素晴らしい大会になったという事で感謝を申し上げます。

本年度は、前半がこの大きな大会でありましたので、これが無事に終わり、これからは来年の50周年に向けて準備をしっかりと進めていくという事です。皆さんのお手元の組織表のもと、各分会でいろいろな協議をして頂きまして進めていく訳です。全員のご協力を頂いて来年の50周年が素晴らしい大会になるようにお願いさせていただきます。報告の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告 天野勝美 幹事

- 例会変更のお知らせはお手元の資料をご確認下さい。
- 本日例会終了後、華の間(中)にて理事会がございます。

\*ゴルフ同好会より(市川善英君)

10/31(土)に貞宝CCで豊田RCゴルフ同好会を開催しますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

クラブフォーラム 地区米山奨学委員会 杉浦正典君



皆さん、こんにちは。地区米山奨学委員会に出向しております杉浦でございます。今月は全国ロータリアンの米山月間という事でございます。皆さんもご承知の通り、この米山の記念奨学事業というのは1952年、今から57年前に東京RCの創始者であり「日本ロータリーの父」と云われる米山梅吉様が亡くなられた後、東京RCの皆さんが米山梅吉の遺徳を偲んで海外の学生を支援した、それが米山の基金という事で現在の米山基金の前身となりました。その後、今日は全国のロータリーの32の地区で年間約500名という奨学生を採用しまして、寄付を続けております。この事業に要する費用というのは、実に毎年15億円です。このお金を皆さん方全国のロータリアンの尊い浄財を使って全て賄われております。他からの援助は御座いません。今日皆様に配布させて頂きました「豆辞典」に米山の事全てが書かれておりますので、これを見て頂いて、是非ご協力を仰ぎたいと思っております。

今日はこの後、奨学生の王さんに卓話を行っていただきます。その後、地区に送ってまいりましたDVDを見て頂きます。これは世界の米山の学生たちが現在学友として世界を舞台にして活躍している姿を映像に致したものでございます。この素晴らしい事業を是非心に感じて頂いて、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。



ゲストスピーカー 米山奨学生 王 琦 さん

『中国の成長に伴い、私も成長し続ける』

私の故郷はよく「山城」と呼ばれます。小さい頃、目に見える周りは全部山でしたが、その時、いつかこの山の中から外の世界にいけると思いました。今、本当に故郷から離れてきましたが、逆に故郷のことがよく目の前に浮かびます。昔話で「山があるところには水もある」、故郷は山が美しく、水も美味しいです。昔、一番好きなのは両親や友達などと一緒に、山に登ったり、川で遊んだりすることでした。私は故

郷の美味しい食べ物と水に養育されたので、性格は素直で、根気が強いと思います。生まれたのがちょうど「文化大革命」が終わったばかりの時でした。今の中国に比べると、その時は本当に貧しかったです。ミルクは足りない時代なので、麦粉みたいな飲み物も飲んだことがあります。肉料理もあまり食べられなかった印象があります。多分そのため、今の私はミルクとお肉が大好きです。現在の子供たちと全然違って、その時の私たちは春節(中国の旧暦)が大好きでした。それは沢山美味しい料理が食べられ、年玉をもらえ、新しい服を着れるからです。しかし、中国の経済の成長に伴い、国民の生活のレベルが上がってきて、春節の意味も変わってきました。今の春節はもう美味しい料理を食べる日ではなく、家族の集まる日になりました。ですが、私の子供の頃の楽しさが分からない子たちを見ると、この33年間私は中国と一緒に成長して、良かったと思います。だからこそ、働いている人々の辛さやお金の大事さなどがよくわかります。無駄なお金を絶対出さないというルールを守ってきました。これは、ただのお金の問題ではなく、環境問題やより重要なところでお金を使うと言うことであります。

しかし、ロータリアンたちはどうして沢山のお金をだして、知らない留学生に奨学金を支給するか、最初は本当に理解できませんでした。自分が米山奨学生になってから、やっと納得できるようになりました。ロータリーの創始者である米山梅吉さんは留学生であった時、よく留学生の辛さが分かって、そのために生前、アジア人留学生の面倒をみていました。それから、1952年東京RCで、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想が発表されました。二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい、自分たちが世界の人々と友情を結ぶことができると証明したい、という当時のロータリアンたちの強い願いがありました。今年の5月に常務理事会で、米山記念奨学事業の新しいシンボルマークが決定されました。重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。以上のことから、ロータリーアン皆さんの心はよく分かるようになりました。



去年4月から、米山奨学生の一員になって、毎月例会に参加させて頂き、何より嬉しいことです。まず、奨学金をいただくことは本当に助かります。奨学生になる前はアルバイトをしなければなりません。そのため、勉強の時間は少なくなって、研究はなかなか進められなかったです。奨学金はまるで「長い早魃におしめりがある」ことです。きわめてえがたく嬉しいことでした。

次は、こちらで日本を理解できることです。学校で教えられないことは全部こちらでカウンセラーさんや皆さんから教えて頂きました。皆さんの背中を見ると、日本の経済発展の秘密が分かりました。皆さんが一所懸命努力しているからこそ、今の日本はこんなに美しくなりました。以前、資本社会の社長たちについて、よくないイメージがあり、自分の利益のため大勢の社員を搾取すると思えました。しかし、ある日、あるロータリアンの一言を聞いたら、凄く感動しました。「我々が努力しないと社員たちはかわいそうになるから、もっと頑張らなきゃ」、自分のためではなく、社員のため、頑張っている社長の本音でした。

最後、生きる意義を教えてください。「なぜ私が生きているか」答えられないまま30年間生きてきました。例会で皆さんと一緒に四つのテストを読んだとき、答えがヤット分かりました。「1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか」まるで生きている意義だと思えます。

ロータリーで奨学金だけ頂くのではなく、山ほど沢山のことを教えて頂いて、この恩義は一生忘れられません。来年卒業しても、ロータリーから離れたくないです。幸いなことは今年3月28日、中国米山学友が誕生しました。初代会長姫軍さんは、「私たちは今、滴る水のようにうけた恩義を、湧き出る水のようにお返しする道程にあります。日本人の心をしてるのは、私たちがおいてほかにありません。この思いを伝え、日中の友好関係を進展させるのが目的です」と語りました。これは私たちロータリー奨学生の代表でした。姫さんのスピーチにも感動しました。それは姫さんの世話クラブのロータリアンのお話でした。「その恩義を我々に返すのではなく、次の若い世代に伝えてくだされば、それが我々にとって恩返しです」。それを読んで、私は以下のことを決心しました。お金持ちではなくても、ペットボトルを買わなく100円ずつ貯めて、長年続けそのお金を次の若い世代に支援します。

今日卓話をさせて頂いて、本当にありがとうございます。実は今日、

中国は60歳の誕生日です。こんな記念の意味がある日に、皆さんとお話しさせていただいて、一生忘れないことになります。以上です。ご清聴ありがとうございます。

ロータリー米山記念奨学会

DVD【心をつないで、世界へ】鑑賞(15分)

\*\*\*\*\*

ニコボックス

本日の当番 梅村泰弘 君



●梅村正明君

R財団で奨学生のお世話をさせて頂いていますので、異国での勉強は大変である事を充分理解できます。王さんの、豊田での生活が楽しいものである事を折って投金します。

●天野勝美君

梅村さんには日頃公私共にお世話になっております。先日名古屋第一の野球全国大会は、野球部の皆様大変ご苦労様でした。

●杉浦正典君・丸井俊裕君

10月は『米山月間』です。この機会に米山記念奨学事業の目的が、ただお金を支援するだけでなく、心を繋ぐ尊い事業である事を理解して頂き、今後共支援、ご協力を頂きます事をお願い致します。

●孕石邦雄君

会社の総会で、社長職から会長職になりました。社長を25年務め、ひとつの区切ができ、ほっとしています。これからは、自分の好きな事をやりたいと思っています。

●加藤直樹君

明日から3日間、鈴鹿サーキットにおきましてF1日本GPが開催されます。私も観戦に行く予定ですが、先週のシンガポールGPで2位でゴールしたトヨタチームの念願である優勝を祈念し投金させていただきます。

●河原秀紀君

梅村先輩には、公私共にお世話になっています。立浪は引退しますが、梅村さんはまだ引退できません。野球部で頑張ってください。

●野球同好会一同

9月21日~23日の3日間にわたり行われました「グレーン&千杯全国選抜野球大会」も、多くの皆様の応援のもと、無事に終了する事ができました。本当にありがとうございました。我が豊田RCも1回戦阿波徳島に4-1で快勝、2回戦は惜しくも5-1で敗れましたが、ベスト8となりました。また11月より地区予選が始まります。

●友情投金

赤松 明	神谷典之	鈴木元弘	三宅英臣	斎藤正吉
倉地忠雄	渡邊寿也	井戸雅裕	永田一夫	永井英雄
篠田 徹	藤村匡泰	中根富夫	片田直幸	三宅金一
伴 征雄	松尾隆延	鈴木万衛	光岡主税	太田雄介
岡田勝美	大山輝美	市川善英	光岡新吾	下地正孝
杉浦秀明	河合弘義	神谷和利	鈴木幸伸	横山眞久
北川尚子	藤井伸三	山田郁雄	村上雅則	早川文喜
坪井敦也	秋田敬治	清水伸吉	米山和浩	奥田清仁
酒井法丈				

●梅村泰弘君

久しぶりのニコ当番です。多くの方にご投金いただき、感謝申し上げます。

出席状況

出席委員会 米山和浩 君

例会日	会員数	対象会員	欠席者	出欠会員	出席率
10/1	84名	73名	23名	4名出	64.29%
先々週(9/17)の修正出席率 ...96.15%					

次回の例会

第2401回

日時 21年10月22日(木)  
場所 ホテルトヨタキャッスル  
卓話 米山和浩君



豊田ロータリークラブ  
〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12  
Tel 0565-32-5555 Fax 0565-32-5559  
E-mail office@toyotarc.jp HP http://www.toyotarc.jp

会報委員会:小野雅道 山田郁雄 北川尚子 下地正孝 鈴木賢三 太田雄介